

# 會 務

第 22 卷 第 10 號 昭和 11 年 10 月

## 役 員 會

### 第 9 回理事會 (昭 11. 9. 7)

出席者: 井上會長, 辰馬副會長, 宮本, 萩原, 藤井, 後藤, 宮長各理事, 中川前會長

#### 報 告

1. 明治以前日本土木史を 天皇陛下に献上致度東京府を経て願ひ出でたる處別記の通り御採納の光榮に浴したり。
2. 明治以前日本土木史を 滿洲帝國皇帝陛下に献上致度願ひ出でたる處別記の通り御採納の光榮に浴したり。
3. 平山復二郎君の後任理事に後藤宇太郎君を選任せり。
4. 前東亞部長宮本武之輔君を總務部長に後藤宇太郎君を東亞部長に依囑せり。
5. 國際大堰堤會議へ出席の下記諸君へ本會代表を兼ね出席方を依頼せり。  
小野基樹君 佐藤周一郎君 石井颯一郎君
6. 國際測地學會議へ出席の野口正義君へ本會代表を兼ね出席方を依頼せり。
7. 土木學會關西支部役員會議事報告
8. 日本工學會評議員會議事報告

#### 決 議

1. 東亞調査委員會委員長及委員に次の諸君を依囑することとせり。

委員長 中川吉造君

委員 田中 豐君 山口 昇君 金森誠之君  
 榎木寛之君 鈴木雅次君 谷口三郎君  
 三浦七郎君 淺間逸雄君 井上隆根君  
 古川淳三君 山田隆二君 秋山徳三郎君  
 内田莊一君 山田忠雄君 高橋三郎君  
 森田三郎君 内海清瀧君 柳澤健君  
 直木倫太郎君 杉 廣三郎君 伊澤道雄君  
 近藤謙三郎君 何 壽祥君 佐藤應次郎君  
 山領貞二君 津田正夫君 永井了吉君  
 池田鐵男君 池本泰兒君 東 泰藏君

2. 用語調査常置委員會設置を常議員會に諮ることとせり。
3. 土木學會財政調査 (基金運用及募集に關する)

委員會の委員長及委員に次の諸君を依囑することとせり。

委員長 前川貫一君

委員 杉本好太郎君 新井榮吉君 三浦 貢君  
 竹股一郎君 大竹邦平君 久保彌太郎君  
 藤田弘直君 谷井陽之助君 衣斐清香君  
 金子源一郎君 田中 豐君 高橋三郎君  
 阿曾沼 均君 佐藤利恭君

4. 工業教育調査委員會設置の件は保留とす。
5. 會員社交機關設置の件は保留とす。
6. 土木工事に關する文化映畫作成に關しては委員會を設置することとし之を常議員會に諮ることとせり。
7. 土木図書館及學會図書室内容充實改善の件は考慮することとせり。

8. 9月開催の講演會は日本技術協會と聯合にて「シヤム」國有鉄道運轉課長, 中華民國趙福禮兩君を招待して9月28日開催することとせり。

9. 秋季視察旅行は裏磐梯ドライブ東電小野川發電所を視察することとせり。

10. 日本ポルトランドセメント同業會講演者依囑の件は藤井編輯部長に於て選定することとせり。

11. 8月17日迄に於ける入退會の件

網谷安次郎君外3名を會員に淺沼順一君外20名を准員に笹山勇君外1名を學生員として入會を承認し, 准員青柳晴一君外86名を會員に, 學生員石倉寛治君外6名を准員に転格を承認せり。

會員白髮正人君外2名, 准員加藤益治君外2名は死亡し, 會員野田虎男君外2名, 准員菊地幸男君外3名は退會せり。

12. 南朝鮮地方風水害調査に關しては總務部長に於て立案することとせり。

13. 年次學術講演大會開催の件は總務部長に於て具體的計畫を立て常議員會に提案することとせり。

## 編輯部記事

### 第2回編輯幹事會 (昭 11. 8. 29)

出席者: 藤井編輯部長, 鈴木, 長田, 野坂各幹事, 中川囑託

1. 會誌編輯委員會にて新設と決定せる會員の頁欄

の具体案を次の如く決定せり。

範圍：土木工学，土木工事，土木學會並に土木技術社會に對する批判，時評，感想，希望等とし必ず署名する事

審査：原稿は豫め編輯幹事會に於て審査し會誌編輯委員會に諮る事

2. 謝禮標準變更に就き協議し案を會誌編輯委員會に提出する事とす。(會誌編輯委員會記事参照)

3. 第 23 卷 第 9 號所載工事寫眞其の他に對する謝禮を協議せり。

4. 先般發行せる第 3 回工學會大會講演集の論文中優秀なるものに土木賞牌を贈呈し得べきや否やを協議し適當の具体方法を會誌編輯委員會に諮る事とせり。

5. 丹那隧道工事誌を本會に於て發行するに際し、之が内容を概記せる序文を附する事とせり。

6. 土木年鑑，及土木學會パンフレット發行に關し協議せり。

7. 會誌論文集分冊の件は會誌編輯委員會に諮る事とす。

#### 第 9 回會誌編輯委員會 (昭 11. 9. 1)

出席者：關委員長，伊藤，稻葉，大久保，岡崎，樫部，島野，鈴木，長田，野坂，廣瀬各委員，辰馬副會長，五十嵐編輯主任，中川囑託

1. 會員の頁新設に就き編輯幹事會案を報告せり(編輯幹事會記事参照)

2. 謝禮標準變更に關する編輯幹事會案を協議し次の通り決定せり。

論說報告に對する謝禮は原則として廢止すること，但し特に事由ある場合は此の限にあらず。而して從來別刷 20 部贈呈したれども 30 部とすること。時報に對しては謝禮を贈呈す。新刊紹介及會員の頁は謝禮を贈呈せず。其の他は従前通り。

3. 第 22 卷第 9 號所載原稿に對する謝禮を幹事會案通り決定せり。

4. 先般發行せる第 3 回工學會大會講演集は要點のみ發表せる論文多きを以て之が詳細報告執筆方を適當に編輯委員より依頼する事とす。

5. 原稿審査を爲し第 22 卷第 10 號追加原稿及第 22 卷第 11 號登載原稿を次の通り決定せり。

#### 第 10 號追加

工事寫眞：正田橋，新立橋，大供地下道

講演：土木工学用語集の發刊成るまで(會，工博，中川吉造)，明治以前日本土木史の發刊成るま

で(會，工博，眞田秀吉)

討議：乾燥砂並に濕潤砂の土質力学的研究(會，今野彦貞)同上(著，會，工博，小野諒兄，會，工，眞井耕象)

抄録：ハンブルグ港に於ける人道跨線橋(住友)工事用の木造トラス(住友)，コンクリート補剛拱橋の塑性変形(米屋)，揚圧力に關する實驗(米屋)，鉄筋コンクリート構造物發達の過程(糸川)，擁壁設計に於ける非粘着性(福西)，Parshall 樋及其の下水測定への応用(西村)

時報：仙山線隧道の貫通，洞海湾工事着手，新京濱國道工事着手，朝鮮水害狀況，都市計畫關係決定事項

新刊紹介：地質地震氣象，シベリヤ極東地下燃料及水力資源詳解，朝鮮直轄河川工事年報，昭和 9 年朝鮮の洪水，コンクリート總覽，上水道統計，架橋の力学

#### 第 11 號登載

論說報告：連続拱橋の解法(會，工博，三瀬幸三郎)，道路面流水の理論(會，工博，久野重一郎)，伊東線宇佐美隧道北口の換氣設備に就て(會，工，石川九五，小竹秀雄)

彙報：小型掘鑿機に依る堅盤河床の掘鑿(會，落合林吉)

抄録：土壤試驗方法の改良(藤森)，水害に床版を取られた橋に使用した鉄網床版(藤森)，衝撃に依る応力の光弾性的研究(藤森)，拱の陸橋(住友)，染料を利用した水道管漏水調査(米屋)，上水々源となる人工地下水(米屋)，A. S. T. M. の研究事項と示方書の改訂(米屋)，アルミニウム板の性質(最上)

特許紹介：

6. 第 3 部振興委員會提案の會誌論文集分冊の件を協議せり。

7. 抄録擔當者追加改正の件は野坂委員に於て考慮する事とせり。

### 法制部記事

#### 第 2 回土木士法案調査委員會 (昭 11. 9. 8)

出席者：眞島委員長，阿部，江橋，増田，森各委員 宮長法制部長 柴原書記長，小野寺庶務主任

1. 在英米獨伊日本大使に依頼した各國に於ける土木建築士法の内閣國創定の分到着したるを以て次回委

員會迄に之を翻譯して參考とすること。

2. 土木建築士法案調査委員會當時の書類を取纏め次回委員會に提出すること。

3. エンヂニア・ニュースレコード登載 Between Engineers and Architects を抄譯し參考とすること。

### 第3回行政機構改正調査委員會 (昭11.9.9)

出席者：八田委員長、鈴木、高橋、古川、三浦、宮島各委員、富長法制部長、宮本總務部長、柴原書記長、小野寺庶務主任

八田委員長：本委員會としての行政機構改正の目標を次の3案とし、その何れかに依り審議を進むることとして如何と語る。

- (1) 現在機構の儘として各省所管事項の連絡統制を図るため内閣直屬の委員會を作ること。
- (2) 各省の土木に關する施行だけを統一して土木省を作り連絡のため別に委員會を設くこと。
- (3) 施行と行政とを纏めた公共省を作ること。

鈴木委員：行政機構の根本的改革は早急に實現し難しと見られる故先づ第1案の委員會制度案に依て本委員會を進めて行くことが宜いと思ふ。

八田委員長：第3案の如き根本的改革案は後廻しとして差當り第1案の委員會制度に依つて案を纏めることにしたき旨を語り各委員賛成す。

1. 委員會制度案を作成するため土木關係各部門に依り次の委員に原案起草を依頼することとす。

港 灣 鈴木雅次君 河 川 高橋嘉一郎君  
水 力 高橋三郎君 道 路 三浦七郎君  
鉄 道 古川淳三君 都市計畫 樫木寛之君

2. 原案には一系統の行政事務が各省に分掌せられつゝある現状、そのために生ずる不合理、無統制な實狀に就て詳記し、之が連絡統制のために委員會を設くことの必要なる所以と、右委員會の構成とを以て決論とするものとす。

3. 委員に次の諸君を追加推薦することとする。

高橋嘉一郎君、樫木寛之君、衣斐清香君、加藤伴平君(幹事)

4. 9月20日の委員會を休會として10月27日第4回委員會を開催することとす。

### 調査部記事

#### 第5回コンクリート調査委員會 (昭11.9.10)

出席者：大河戸委員長、内山、大石、河西、川口、

田中、野坂、松村各委員、五十嵐編輯主任

1. 昭和11年鉄筋コンクリート標準示方書及同解説印刷の進捗状況の報告を爲す。

2. 同解説の參考編に下記規格を挿入する事とせり。

J.E.S. 第28號 日本ポルトランドセメント規格、  
J.E.S. 第1號 金屬材料抗張試験片、J.E.S. 第20號 構造(橋梁建築其の他)用圧延鋼材、J.E.S. 第24號 圧延鋼材の寸法及重量の公差、

3. 鉄筋コンクリート標準示方書改訂に關する吉田博士の案を豫め委員に配り次回より協議する事とす。

4. 新にコンクリート標準示方書制定に當り先づ參考文獻として諸外國の示方書を蒐集する事とす。

5. 各官廳會社等で設計に使用せる許容応力及試験に依る破壊応力の實例を蒐集する事とし、先づその報告書形式を定める事とす。

#### 第3回請負工事標準契約書調査委員會 (昭11.9.11)

出席者：上村、近藤、菅野、三浦各委員、宮本總務部長、柴原書記長、小野寺庶務主任

1. 第2回委員會に於て近藤幹事に一任せる原案作成の關係上9月25日の委員會は休會とし10月9日(金)に開催することとせり。

2. 鉄道關係の委員中3名が地方転勤となりたるを以て補充することとしその選定は理事に一任することとせり。

### 東亞部記事

#### 招待會

昭和11年8月17日虎ノ門滿鉄ビル「エトアール」に於て「アフガニスタン」へ赴任の内務技師藤芳義男、上ノ土實兩君の爲送別午餐會を催せり。

出席者：藤芳技師、井上會長、辰馬副會長、宮本、萩原、沼田各理事、河口、菊池、關各常議員、名井、眞田、久保田、青山各前會長、山田、山中兩東亞連絡委員、柴原書記長、小野寺庶務主任

### 土木學會關西支部記事

#### 第5回役員會 (昭11.7.24)

出席者：清水支部長、島崎幹事長、鮫島幹事、松田、佐藤、澤井、奥中、松本、有光、糠澤各常議員、後藤前支部長

次の事項を協議せり。

- 1. 土木用材總覽の件。
- 2. 9 月開催通俗講演會の件。
- 3. 10 月見學會の件。
- 4. 會長來阪の件。
- 5. 第 5 回全國都市問題會議出席の件。
- 6. 關西支部區域内に岡山縣編入の件。
- 7. 支部交付金増額の件。
- 8. 第 7 回土木工學研究會精算の件。

9. 關西技術及理工學團體聯合會の件。

その他の記事

○昭和 11 年 8 月 30 日關西地方風水害調査報告豫約募集のパンフレットを全會員に配布せり。

○昭和 11 年 8 月 31 日土木學會誌第 23 卷第 9 號を發行し成規の手續を了し 9 月 1 日全會員に配布せり。

入會及轉格會員

(昭 11.9 月 手續了)

會 員 (入 會)		會 員 (入 會)		會 員 (入 會)	
網谷安次郎君	熊本縣土木課	藤本爲美君	朝鮮總督府土木出張所	森岡史朗君	奉天志士土木會社
湯本三郎君	高岡組				
准 員 (入 會)		准 員 (入 會)		准 員 (入 會)	
淺沼順一君	朝鮮總督府土木出張所	今野覺治君	臺灣總督府交通部道路港務課	丹生麗直公君	電氣化學工業株式會社
市川清君	東京市水道局擴張課	佐藤利吉君	關東州土木課	西出宗一君	京都府京都土木事務所
石金清美君	札幌鐵道局工務部改良課	關嘉市君	支那駐屯軍司令部顧問部	馬淵琢磨君	富山縣電氣局
氏原晴信君	株式會社大林組	關熊吉君	山陽水力電氣會社	増田伊太雄君	關東州土木課
遠藤辰男君	仙臺市都市計畫課	多賀正久君	富山縣電氣局土木課	松田久雄君	株式會社大林組
落合利光君	東京市水道局擴張課	高島嘉雄君	株式會社大林組	宮本萬之丞君	岩手縣地誌課
桑原於菟葉君	合資會社清水組	中島勘之丞君	朝鮮龍山鐵道局工務課改良係	八木國太郎君	臺灣總督府交通部道路港務課
学 生 員 (入 會)		学 生 員 (入 會)		学 生 員 (入 會)	
埴山勇君	關西高工	榮澤正巳君	早稻田高工		
會 員 (轉 格)		會 員 (轉 格)		會 員 (轉 格)	
青柳晴一君	臺灣總督府土木課	太田義勇君	滿鉄々道部工務課	酒井定次君	滋賀縣水口工區事務所
駒谷堅志君	株式會社飛鳥組	岡本東一郎君	白石基礎工業合資會社	櫻井敬二郎君	長野縣土木部
雨宮正道君	内務省名古屋土木出張所	奥崎益美君	長野縣土木部	永峰彌太郎君	福洲國岡島公署
有坂誠喜君	大同電力株式會社	片山文雄君	愛媛水力今渡建設所	西川忠吉君	東小樽土地區調整組合
五十嵐醇三君	内務省大臣官房都市計畫課	金光稔君	廣島縣土木部	畑 董君	京都府土木部道路課
池内直義君	茨城縣土木課	川久保重政君	朝鮮龍山鐵道局建設課	服部俊一君	愛知縣觀橋土木工區事務所
池田福正君	滿洲國々道局沈南派出所	河野三郎君	〃	福永政雄君	北海道旭川土木事務所
石津一磨君	朝鮮總督府通信局電氣課水力係	河野通顯君	三井礦山三池製作所	藤代源作君	内務省横濱土木出張所
今井四郎君	東京鐵道局新橋保線區	菊地清六君	靜岡縣沼津港修築事務所	藤原一雄君	滿鉄奉天鐵路局工務處
今岡鶴吉君	鐵道省盛岡建設事務所	久保田進君	王子製紙株式會社	古川定吉君	大阪市水道部下水課
岩井鉄二君	福岡縣土木部	小林計己君	〃	堀江清司君	滿鉄々道建設局工務課
上野廣市君	鳥根縣土木部出張所	小林眞一君	内務省伊賀川改修事務所	本多平八郎君	高松州土木課
小知照雄君	九州水力電氣株式會社	古賀正君	東京市水道局淀橋淨水所	松浦茂君	山形縣酒田土木出張所
王克富君	奉天市公署工務處建設科	國米秀正君	滿鉄奉天地方事務所	松永岳夫君	富山縣土木課
大川孝君	兵庫縣垂水町役場	佐島秀夫君	大阪市役所港務部	三木光一君	徳島縣土木課
大西好雄君	臺灣總督府土木課	佐藤慶次君	靜岡縣保線事務所	光成毅平君	朝鮮釜山事務所
大野繁雄君	高松市役所土木課	齋藤鉄夫君	千葉縣水道事務所	宮地榮三君	〃

舞木 謙君 新井特別市公署土木科  
 森實清次郎君 帝國電力株式会社  
 森田定市君 三井三池製作所建築課  
 八島 忠君 高知縣廳土木課  
 篠田宗次郎君 合資会社清水組  
 庄司儀夫君 山形縣寒河江土木出張所  
 鈴木銀次郎君 京都市水道局上水課  
 鈴木倫虎君 内務省土木試験所  
 清 香彦君 中央水力株式会社  
 田中吉太郎君 大倉土木株式会社

田邊 弘君 關東州廳土木課  
 田丸陸太郎君 九州送電株式会社  
 高木 天君 日本電力黒部建設所  
 高田半吉君 朝鮮總督府土木課  
 都木 清君 株式会社門組  
 竹田秀賀君 佐世保海軍建築部  
 竹本辰次君 秋田縣警署土木事務所  
 橋内徳治君 滿洲國交通部營政局工務科  
 藤原博曉君 北海道廳路土木事務所  
 豊川 寛君 北海道貿易港事務所

鳥内修三君 滿洲國國道局第二技術處治水科  
 中館 剛君 北海道旭川土木事務所  
 中谷岩雄君 東京市土木局淀橋出張所  
 長友一二君 宮崎縣五ヶ瀬川改修工事事務所  
 安村慎藏君 株式会社間風  
 山野善次君 鳥取縣務部川改修事務所  
 横道英雄君 北海道帶廣治水事務所  
 吉村善臣君 臺灣總督府交通局  
 渡邊 啓君 株式会社福昌公司

石倉寛治君 東邦電力株式会社  
 田代福一君 臺灣電力株式会社  
 山下源松君 東京市土木局河川課

准 員 ( 転 格 )

川崎毅三郎君 大同電力株式会社  
 野中八郎君 東京市水道局下水課

近藤利八君 滿鉄々道建設局水道調査所  
 水越達雄君 大日本電力株式会社

土 木 学 會 々 員 數

( 昭 11.8.17 現 在 )

會 員	准 員	学 生 員	特 別 員	賛 助 員	合 計
2780	2725	521	3	20	6049

図 書 及 雜 誌

( 昭 和 11 年 8 月 中 )

交 換

道路の改良 第18卷第8號  
 工業化学雜誌 第39號第8册第462號  
 電気学会雜誌 第56卷第8册  
 日本建築士 第19卷第2號  
 工業化学雜誌 第39卷第8號(歐文別册)  
 建築雜誌 第50輯第615號  
 造船協會々報 昭和11年6月第58號  
 業務研究資料 第24卷第20~21號

建築と社會 第19輯第8號  
 鉄 と 鋼 第22年 第7號  
 資 源 第6卷 第8號  
 都 市 問 題 第23卷 第2號  
 工 政 第195號  
 會 報 第37號 第8號  
 日本鐵業會誌 第52卷 第616號

水道協會雜誌 第39號  
 滿洲建築雜誌 第16卷 第8號  
 機械学会誌 第39卷 第292號  
 衛生工業協會誌 第10卷 第8號  
 港 灣 第14卷 第8號  
 滿洲技術協會誌 第13卷 第89號  
 熔接協會誌 第6卷 第6號

寄 贈

土木建築雜誌 第15卷 第8號  
 シベリヤ極東地下燃料及び水力資源詳解 第 2 輯  
 建築学会論文集 第 1 號 昭和 11 年 3 月  
 シベリヤ極東林産資源詳解 第 1 輯 東京工業大学  
 日本學術振興會年報 第 3 號 日本學術振興會  
 セメント界彙報 8 月號 第 341 號 日本ポルトランドセメント同業會  
 造園雜誌 第 3 卷 第 2 號 日本造園学会

シベリヤ社 東京工業大学  
 建築学会 東京工業大学  
 日本學術振興會 日本ポルトランドセメント同業會  
 日本造園学会

工業現勢 第5卷 第8號 東京工業大学  
 信 號 第9卷 第4號 信 號 會  
 セメントコンクリート道路 No. 40 日本ポルトランドセメント同業會  
 鑄 物 第8卷 第8號 日本鑄物協會  
 日 立 評 論 第19卷 第8號 日 立 評 論 社  
 工 学 昭 和 11 年 8 月 東 京 工 学 社  
 滿洲電気協會會報 昭 和 11 年 7 月 滿 洲 電 氣 協 會  
 名古屋工業會々報 昭 和 11 年 8 月 名 古 屋 工 業 會  
 土 木 工 学 第 5 卷 第 8 號 工 業 雜 誌 社  
 エンジニア 第 15 卷 第 163 號 都 市 工 学 社

國立公園	第8卷第8號	國立公園協會	なぜ電力國營に反對するか	電 氣 協 會
動 力	No. 43	日本動力協會	會 務 彙 報 第 56 號	日本土木建築業聯合會
建 友	第 37 號	建 友 會 社	電力國營問題と國家社會主義	世界經濟情報社
鐵道技術	第10卷第9號	鐵道技術社	東京土木建築業組合報 第9卷第8號	東京土木建築業組合
電氣工学年報	昭和11年版	電氣學會	電力國營是か非か	東洋經濟新報社
建築雜誌總目錄	第1輯~第49輯	建 築 學 會	工学院同窓會誌 第38卷第9號	工学院同窓會
沖電氣時報	第3卷第4號	沖電氣株式會社	セメント工業 9 月 號	セメント工業社
無線資料	第1卷第5號	東京電氣無線株式會社	日 本 技 術 166 號	日本技術協會
都 市 美	第 16 號	都 市 美 協 會	利 根 第 2 卷 第 8 號	利根製作營業所
區 劃 整 理	第 2 卷 第 8 號	土地區劃整理研究會	土木業協會々報 第 64 號	土 木 業 協 會
朝鮮直轄河川工事年報	昭和7年度	朝鮮總督府	最近鐵道論 改 版	日本交通學會
東京工業大學學報	第5卷第8號	東京工業大學	購 入	
日立機械評論	第 25 號	日立評論社	Der Bauingenieur, 17 Jahrgang,	
建築學會論文集	第 2 號	建 築 學 會	Heft 29~32, August 1936.	
土木建築工事畫報	第12卷第8號	工 事 畫 報 社	Die Bautechnik, 14 Jahrgang,	
滿洲國視察談		京 都 俱 樂 部	Heft 31~35, August 1936.	
日本動力協會會報別冊	第 23 號	日本動力協會	Beton und Eisen, 35 Jahrgang,	
電力民有官營案の検討(其2.3.4)		電 氣 協 會	Heft 14~15, August 1936.	
			Engineering News-Record, August	
			1936, vol. 117, No. 3~6.	
			Le Génie Civil, Tom IX, No. 3~6, Aout 1936.	

會員 白髮正人君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す。

准員 加藤益治、吉村榮次兩君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す。

# 正 誤 表

(第 22 卷第 9 號所載)

## 地盤並に其の耐圧力の一調査法

頁 及 行	誤	正
英文表題中 要旨中	Ground Layers	Layers of Soils
	第三紀並に	の五字を削る
p. 860 上より 14 行	幅さ	幅
" 下より 6 行	(loos)	(loose)
p. 861 上より 10 行	測定する事は	測定するには
p. 863 上より 17 行	堆定せん	推定せん
" " 26 行	後者	前者
p. 866 " 17 行	地表 5.30 m	地表~5.30 m
p. 869 下より 12 行	(図-9 参照)	(図-10 参照)
p. 870 上より 13 行	図-9	図-8 の第 4 號
p. 871 " 1 行	根切する管	6.2 m 根切する管
" " 18 行	地盤 1.2 t	地圧 1.2 t
p. " 図-14 中	某地に於ける	廣井町地内に於ける
" "	柱状図の番號誤す、左より第 3 號、第 2 號、第 1 號	

謹 告

一明治以前日本土木史 第一卷

右

天皇陛下へ獻上被致候

ニ付

御前へ差上候

此段申進候

昭和十一年八月十五日

宮内大臣松平恒雄

社団法人土木學會會長

井上秀二 殿

本會編纂の明治以前日本土木史全1巻を  
天皇陛下に

獻上致度東京府を経て願ひ出でたる處頭書の通り御  
採納の光榮に浴したり

土木學會

會長 井上秀二



謹告

逕復者

貴會長進獻編纂明治以前日本土木史一冊由

敬 國外交部轉送來宮當經進呈

御覽持覆北致

日本帝國東京土木學會會長

井上秀二殿

滿洲帝國宮內府大臣熙洽



康德三年九月八日

本會編纂の明治以前日本土木史全1卷を  
滿洲帝國皇帝陛下に  
獻上致度滿洲國大使館を経て願ひ出でたる處頭書の  
通り御採納の光榮に浴したり

土木學會

會長 井上秀二

# 會 告

時は紅葉の好季!!

## 秋のエキスカージン!!!

第 25 回視察旅行を下記プログラムの通り東山温泉 1 泊、猪苗代湖畔ドライブ十六橋見学、裏磐梯五色沼探勝、東電小野川発電所工事の視察を（晴雨に拘らず）催します。この絶好の機会を逸せず奮て多数の御参加を切望致します。

集合場所及日時： 會津若松驛前へ 10 月 10 日午後 6 時 30 分までに集合。

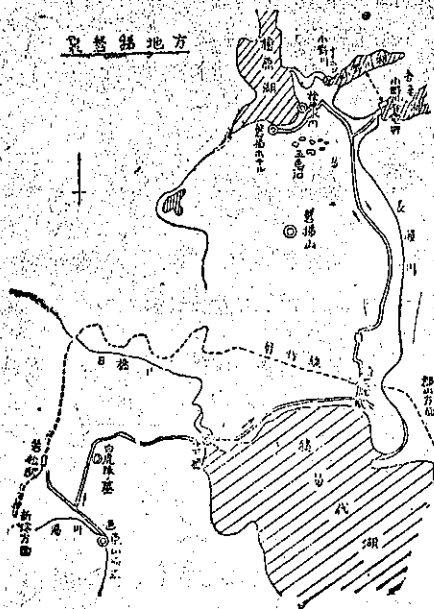
行 程： 第 1 日： 10 日午後 8 時より東山温泉向瀧に於て大懇親會を開催し同所に 1 泊温泉情緒を満喫。

第 2 日： 11 日午前 9 時東山温泉を出發し猪苗代湖畔をドライブ十六橋見学、裏磐梯五色沼を探勝して檜原湖畔磐梯ホテルに入り晝食休憩、午後 1 時より檜原水門、小野川サイフォン、秋元堰堤等を視察し東電小野川事務所に到り少憩後同所発電所工事を視察、裏磐梯をドライブ紅葉を觀賞し午後 4 時 40 分猪苗代驛に着解散

會 費： 3 円 50 銭 集合より解散まで一切の費用（汽車賃自辨）當日御持参を願ます（向瀧の學會受付で頂きます）。

参加申込： 10 月 5 日までに御申込下さい。

汽車時刻は次の時間を御利用下さると便利です



- (往) 上野驛發午前 10 時 20 分  
 若松驛着午後 6 時 14 分  
 上野驛發午後 1 時 30 分  
 若松驛着同 8 時 34 分  
 宇都宮驛發同 0 時 37 分  
 若松驛着同 6 時 14 分  
 仙臺驛發同 0 時 20 分  
 若松驛着同 6 時 14 分  
 仙臺驛發同 2 時 25 分  
 若松驛着同 8 時 34 分  
 新潟驛發同 2 時 35 分  
 若松驛着同 6 時 49 分
- (復) 猪苗代驛發午後 4 時 55 分  
 上野驛着同 11 時 17 分  
 猪苗代驛發同 4 時 55 分 (郡山乗替)  
 仙臺驛着同 9 時 30 分  
 猪苗代驛發同 5 時 31 分  
 新潟驛着同 10 時 0 分

## 會 告

### 昭和 11 年 土木学会 鉄筋コンクリート標準示方書及同解説発行に就て

昭和 6 年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書は今日既に 5 箇年を閲し、其の内容に関し改訂を要する點多きを認め目下本會コンクリート調査委員會に於て之が調査中なるも、差當り術語を工学会規定の用語に改め、骨材試験用の節を日本標準規格に改めたる昭和 11 年版を發行致す事となりました。大きさは携帯に便なる様示方書は四六版、解説は菊版とし、定價は示方書及解説を合せて 1 円であります。發賣の開始は 10 月 1 日であります。

### 時 報 記 事 募 集

本誌に時報欄を新設して、下記内容の記事を掲載する事に致しましたから適當なる記事の御投稿を御願ひ致します。

- A. 土木工事の計畫、設計、施工の進捗、竣功の狀況、金額等のニュース
- B. 土木工学界の内外学協會、調査會、委員會等の設立、調査研究事項並に報告其の他會議、催物の簡單なる紹介
- C. 官廳、會社、公共團體の組織、事業に関するニュース
- D. 法規、示方書、規定等の紹介

### 會 員 の 頁 記 事 募 集

今度會誌に「會員の頁」を新設する事と致しました。この欄は會員諸君の土木工学、土木工事、土木学会、土木技術社會に對する批判、時評、感想、希望等御發表の御利用に充てたものでありますから振つて御投稿を御願ひ致します。

### 土 木 工 学 用 語 集 發 刊 延 期 に 就 て

茲に豫約申込を受けました本會發行の土木工学用語集は 9 月中配本の豫定でありましたが、都合により多少遅延致しますから御了承下さい。

# 會 告

## 會 員 名 簿 調 製 に 就 て

昭和11年度本會會員名簿を作成するに當りまして正確を期するため登録名簿と一に照合致したいと思ひまして、第22巻第9號會誌に兼書と添付9月30日までに本會に到達する様御回報を御願ひしてありますが未だ御出しにならない方は一刻も早く御願ひ致します。

従來住所職業その他が変更せられても一向御通知がないため舊來のまま名簿を作成し、實際と相違することが任々ありますのは誠に遺憾に存じます、何卒従前の通り何等変更せられない場合でも、必ず御回報下さる様特に御願ひ致します。

## 御住所不明會員に就て御願ひ

下記諸君は転居先の御通知がないため、會誌の配布を始め、その他の諸通信が出来ませんのは誠に遺憾であります。どうぞ知人の方は御手数敷忍入りますが、御本人に御在意下さるか、本會にその住所又は勤務先を御知らせ願ひます。

荒川 参太郎君  
露 増能君  
安西 榮太郎君

和泉 高敏君  
田中 武大君  
佐藤 興吉君  
佐栗 田忠治君  
廣 斯選君  
福 島保君  
大橋 三郎君  
大藤 波壽一君  
劉 作禮君  
城 内清大君  
山田 政大郎君  
多田 安三郎君

稻葉 彌吉君  
張 惟和君  
山本 保之助君

池田 乙次郎君  
坪井 基君  
徐 三善君  
小林 義雄君  
關 佳夫君  
船橋 貞一君  
矢野 國雄君  
丹 羽賢榮君  
濱崎 順四郎君  
水原 馨文君  
横 田清治君

木村 眞一郎君  
原 俊彦君

池田 角太郎君  
緒方 政雄君  
荻原 官六君  
田所 忍吉君  
會 我進君  
高橋 理三郎君  
吉見 胤隆君  
吉田 三徳君  
平木 源太郎君  
宮 田肇君  
石 原三郎君

小林 源次君  
丸 林 勇郎君

笹 崎 東久君  
大 森 鶴吉君  
菊 池 三吉君  
野 口 金大君  
田 代 岩平君  
武 田 惣一郎君  
中 野 順大郎君  
長 谷 誠君  
藤 村 禮士君  
片 岡 隆君  
齋 藤 賢策君

## 工 事 寫 眞 募 集

工事中又は竣功せる工事の寫眞を募集致します。寫眞にはその工事の簡單なる説明を御記入下さい。v。登載の分には薄謝を呈します。

## 既刊會誌殘部内譯

(○は残部有るものと示す)

巻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	金額(円)
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.00
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.00
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.50
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2.00
第 20 巻第 12 號	(創立 20 周年記念號)																					1.50	
第 21 巻第 7 號	(會誌索引付)																					1.80	
震害調査報告書(1,2,3)																						18.00	
応用力学聯合大會講演集																						11.00	
鉄筋コンクリート標準示方書																						20.50	
同上(上)解説																						2.00	
土木工学論文抄録																						2.50	
土木学会誌索引(第 1 巻第 1 號—第 20 巻第 12 號)																						0.50	

上記残部會誌御希望の場合は所収金額を振替口座東京 16828 番に納入用紙通信欄にて  
の旨記入請求せられたし。

## 廣 告 料

普通廣告	1 回 1 頁	35 円	1 回 半頁	20 円
指定廣告	(裏表紙 3 面 向及廣告初頁)	1 回 1 頁	40 円	
	裏表紙 3 面	1 回 1 頁	70 円	
	色アート	1 回 1 頁	60 円	

- 指定廣告は凡て 1 箇年継続申込のものに限り取扱ふものとす
- 會員自身の廣告に對しては總て上記料金の割引とす
- 同一廣告の連続掲載申込に對しては 1 年 4 回以上 1 割引とす
- 廣告に寫眞版又は木版等を挿入する場合は之に要する實費を別に申受くるものとす

## 會員転居転動の場合の注意

會員の御転居又は御転動の場合は即時明細に御通知下さいまし。

## 會費納付に付き注意

會 費	會員種別	會費年額	第 1 期分 (1月～6月)	第 2 期分 (7月～12月)
	會員	金 120 円	金 60 円	金 60 円
	准會員	金 90 円	金 45.0 円	金 45.0 円
	學生員	金 60 円	金 30 円	金 30 円

新入會者は月割計算とす。

納 期 第 1 期分 3 月 第 2 期分 9 月

納付方法 集金郵便を差向はます。(旅行等にて御不在の場合も掛込に致請なき様御配慮下さい。)

振替郵便御利用の場合は振替口座東京 16828 番へ願ひます。

朝鮮滿洲の一部等振替貯金を取扱はざる地に居住せらる會員は納期の翌月末迄爲替その他の方法に依り御送金相成たし。

會費一時納付の御豫定の場合は該の御通知下さいまし。

未納の場合 集金郵便に對し故なく支拂を拒絶し又はその他の方法に依り御送金なき場合は會費滞納者として遺憾ながら定款第 2 章第 14 條第 1 項に依り會誌の配布を停止せられます。

## 會誌未着の場合の注意

會誌は毎月 25 日に發行し漏なく配布致しますから、未着の場合には一応本會に御照會下さい。

發行後數ヶ月経過しての照會は時に殘部皆無となり配布不可能の場合があります。

印刷部

編輯部

印刷部 編輯部

會誌編輯委員

委員長

關 信 雄

委員

伊 藤 健 雄

坂 倉 誠

科 英 通 彦

大 久 保 一 郎

岡 崎 三 吉

加 藤 伸 平

櫻 部 伸

嶋 野 員 三

鈴 木 清 一

長 田 誠 三 郎

野 坂 孝 忠

廣 瀬 孝 六 郎

# DOBOKU-GAKKAI-SI.

(JOURNAL OF THE CIVIL ENGINEERING SOCIETY.)

---

VOL. XXII, NO. 10, OCTOBER 1936.

---

## CONTENTS.

	Page
<b>Proceedings of the Society.</b> .....	79
<b>Addresses.</b>	
On the Publication of the Civil Engineering Vocabulary. <i>By Kitizo Nakagawa, Dr. Eng., Member.</i> .....	951
On the Publication of the History of Civil Engineering in Japan. <i>By Hidekiti Sanada, Dr. Eng., Member.</i> .....	957
<b>Papers.</b>	
On the Continuous Flow Sedimentation Basin. <i>By Tokusaburo Ikeda, Dr. Eng., Member.</i> .....	963
On the Adjustment of Center of Gravity of a Bascule Bridge. <i>By Masaru Yasumi, C. E. Member.</i> .....	999
<b>Discussions.</b> .....	1005
<b>Notes on Matters of Interest.</b> .....	1009
<b>Our Members Say.</b> .....	1019
<b>Current Notes.</b> .....	1021
<b>Abstracts of Selected Articles.</b> .....	1025
<b>Patent News.</b> .....	1041
<b>New Publications.</b> .....	1043

---

## OFFICE

No. 6, 3-TYÔME, MARUNOUTI, KÔZIMATI-KU, TÔKYÔ, JAPAN.